

平成29年度 四国中央市ボランティア市民活動センター 事業計画書

【今年度テーマ】

ボランティア市民活動センターの認知度アップ 及び 役割倍増

【重点実施事項】

1 ボランティア市民活動センターの再周知を図るための活動

ボランティア市民活動センターの活動などを紹介できるようなチラシを作製し、市役所内の各課をはじめ、市内各施設、学校、図書館等に配布してセンターの取り組みや活動に関する情報を発信し、改めてセンターの認知度アップを図る。

2 市役所内のボランティア依頼などの統括（高校生ボランティアなど）

これまで、市が行う事業におけるボランティア募集に関して、担当各課が個別で依頼や調整など行っていたものを、今年度からセンターが統括して行い、市役所内だけでなく外部利用者に向けてもセンターの認知度アップを図る。また、活動に参加した高校生に対してボランティア証明書を発行する。

3 第2次ボランティア市民活動推進計画内の未実施事項の着手

保育・教育におけるボランティア教育の強化について、中学生の職場体験でセンターを活用してもらうなどして、ボランティア教育を行う。また、保育・教育における体験プログラムの強化については、社協が助成を行っている福祉協力校に対してボランティアの説明や提案を行う。

【実施計画】

1 ボランティア市民活動センターの運営及び機能強化（設立11年目）

①ボランティア情報の収集と提供

ボランティア活動に関する情報を収集し、提供することによってボランティア活動の活性化を図る。

②ボランティア相談窓口の設置

ボランティア活動の需給調整・コーディネート力の強化を図り、活動に関する相談やグループ運営、NPO設立等についての支援を行い、市民参加・協働のまちづくりを推進する。

③広報・啓発活動

ボランティア活動に関する広報・啓発を行い、市民・ボランティア活動を促進し、市民参加・協働による住みよい地域づくりを進める。

④人材の育成と養成

市民・ボランティア活動に関する知識・技術を身につける研修や体験学習の機会を提供し、諸分野に渡る多くのボランティアを育成・養成する。（ボランティア市民活動研修会など）

＜平成29年度ボランティア市民活動研修会 開催予定＞

日時：8/24・31、9/7・14・21 全5回 13：30～15：00 場所：福祉会館 ボランティア室

定員：各回 20 名程度 講師予定：前田 眞氏（愛媛大学教授）、石川 弘幸氏（四国中央医療福祉総合学院教諭）、田中 佑樹氏（NPO法人農音代表）、鈴木 健氏（あたりまえの食卓代表）など
<平成29年度傾聴ボランティア養成講座 開催予定>
日時：9/28、10/5・12・19・26、11/2 全6回 13：00～15：00
場所：福祉会館 ボランティア室 定員：各回 20 名程度
講師：加地 初美氏（産業カウンセラー）

⑤ボランティアの交流とネットワークの促進

ボランティアグループ同士の交流と連携を促進するため、登録団体等の交流会を開催し、市民ボランティア活動のネットワークづくりをすすめる。（ボランティア市民活動交流会など）

<平成29年度ボランティア市民活動交流会 開催予定>

日時：平成30年1月～2月予定 場所：福祉会館4階 多目的ホール

定員：100名程度 対象：市内で市民活動を頑張っている方（団体個人不問）

⑥ボランティア活動に関する調査研究

「第2次ボランティア市民活動推進計画」に沿い、その具体的実施方策について研究を行うとともに、市民・ボランティアの各種ニーズに対応・支援できるセンター機能の強化・充実を図る。また、平成30年度の第3次計画の策定に向け、その内容について研究を行い、本市の状況に即した計画が策定できるよう、調査・研究を行う。

⑦ボランティアへの場所・設備の提供

ボランティア活動を支えていくための会議場所や機器等の提供をし、活動の支援を行う。

⑧災害ボランティアの育成

市民の災害に備える意識啓発を広め、日頃からの備えや、災害時のボランティア活動の普及、安心・安全なまちづくりを進める。

<災害ボランティア研修会 開催予定>

日時：平成30年3月頃予定 場所：未定 定員：150名程度

※実際に災害を体験した方などを講師として招聘し、講演会を実施する予定

2 災害ボランティア活動支援体制の整備

①関係機関・団体等との協働体制の確立

災害時及び後方支援に対応する運営体制の確立。平常時から関係機関等とのネットワークづくりを推進し、災害ボランティアセンター設置時には円滑にボランティアの支援が行えるようにする。

②災害ボランティア研修の実施

災害時に迅速に対応できるよう職員の意識向上を図り、災害時において、職員のコーディネート力が発揮されるよう努める。また、多くの支援ボランティアが参加し、生活再建へ向けて、たすけあい活動ができることを目指し、運営ボランティアスタッフ等の養成を行う。

③災害ボランティアセンターの運営の協力

必要に応じ、四国中央市社会福祉協議会が設置する災害ボランティアセンターと速やかに連携をとり、後方支援として現地調査や情報収集、連絡調整、ボランティアの需給調整等を円滑に行い、被災地・被災者のニーズに基づく生活支援を実施する。

④資機材等に関する情報の共有

災害発生時に速やかにボランティアに資機材を提供できるよう、必要な資機材に関する情報について四国中央市社会福祉協議会と共有する。

3 ボランティア教育の推進

① ボランティア学習の推進

四国中央市社会福祉協議会が実施している福祉協力校制度の対象となっている市内の小学校・中学校・高等学校に対し、社会福祉協議会と協力して活動の支援を行う。また、地域・学校・公民館等と連携し、協働での学習プログラムの開発・提案に取り組み、ボランティア学習の充実とボランティア市民活動の意識向上を図る。

4 ボランティアの育成・活動支援

① ボランティア保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備え、安心して活動出来るようにボランティア保険の加入促進を図る。